

## 拒絶理由通知書



特許出願の番号 特願 2007-198127  
 起案日 平成22年 9月29日  
 特許庁審査官 城臺 仁美 3329 3W00  
 特許出願人代理人 落合 健 (外 1名) 様  
 適用条文 第29条第2項

審査付  
639

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

## 理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1
- ・引用文献等 1、 2
- ・備考

請求項 1 に係る発明と引用文献 1 に記載された発明とを対比するに、引用文献 1 に記載された発明は、能動型防振支持装置がいかなる構成のものであるか明らかではない点で、請求項 1 に係る発明と相違する（相違点 1）。

上記相違点 1 について検討する。能動型防振支持装置をエンジンの振動を受ける弾性体と、弾性体が少なくとも壁面の一部を構成する液室と、液室の容積を変化させる可動部材と、可動部材を電磁力で駆動するアクチュエータとにより構成し、アクチュエータへの通電を制御することでエンジンの振動が車体フレームに伝達されるのを抑制させることは、従来周知の技術であることから（必要であれば、文献 2 等を参照すること。）、引用文献 1 に記載された発明に上記周知の技術を用いることにより、請求項 1 に係る発明とすることは、当業者であれば容易に想到しうるものである。

- ・請求項2、3
- ・引用文献等1～3
- ・備考

気筒休止切換油圧をソレノイド弁により制御する気筒休止機構を備えたエンジンについて、気筒休止機構の異常によりエンジンの運転状態の異常を検出するものは、文献3に記載されている。そして、機構の異常を検出する際に、機構を構成するいかなる部材の状態を検出するかは、当業者が適宜設定すべき設計的事項であることから、引用文献1に記載された発明に引用文献3に記載されたもの及び上記周知の技術を用いることにより、請求項2、3に係る発明とすることは、当業者であれば容易に想到しうるものである。

#### 引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平06-042579号公報
2. 特開2001-001766号公報
3. 特開2002-097973号公報

---

#### 先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C F 1 6 F 1 3 / 0 0 - F 1 6 F 1 3 / 3 0  
B 6 0 K 5 / 1 2  
F 0 2 D 1 3 / 0 0 - 2 8 / 0 0

・先行技術文献 特になし。

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではありません

。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第二部 一般機械（制動・機械要素） 須賀仁美

TEL. 03 (3581) 1101 内線3368

FAX. 03 (3580) 6904